J.C.O.S.M.

Vol. 3 No. 4 (July 1973)

全科協ニュース

1973年7月1日発行
（通巻第12号）
全国科学博物館協議会
東京都台東区上野公園
国立科学博物館内
〒 110
TEL.822-0111（大代）

おもな内容 ◇昭和48年度博物館職員講習終わる ◇全科協北から南から 横須賀市博物館 林 公義 ◇東海大学人体科学博物館開館す ◇会員館園紹介 内藤記念くすり資料館・伊良湖自然科学博物館 ◇全国科学博物館協議会入会館園名簿

昭和48年度博物館職員講習終わる

国立社会教育研修所主催の昭和48年度博物館職員講習は，去る5月31日から始まり，7月4日まで35日間にわたって行なわれた．

この講習は，博物館職員の資質の向上を図るとともに自然科学系の学芸員を養成することを目的としたものであり，受講生は，上期の期間中に，博物館学4単位（67時間），教育原理1単位（15時間），社会教育概論1単位（15時間），視聴覚教育1単位（15時間），自然科学史1単位（15時間），生物学1単位（15時間）を修得した．この日程を消化することは，受講生にとってかなりきつかったようであるが，各館から選らばれて集まった人だけにがんばりぬいたようである．なお，今年度の博物館学の講習内容の特色として，資料の収集，保管，調査研究等に関する一般的事項は，博物館概論でとりあげ，各講義の重復をさけたこと，資料の収集では，動，植，地の自然史系分野が合同し，実際に野外（静岡県御殿場市）に出て，それぞれの立場から観察し，どこにポイントをおいて収集したらよいか講義を行なったことなどがあげられる．また，講習の内容もさることながら，博物館という共通の広場に立つ人たちが，これだけ長時間にわたって顔を合わせていることは珍しく，それだけに，研修所であるいは宿舎で，常日頃感じている問題点について意見の交換等が行なわれたようで，この面からの収穫もきわめて大きかったようである．

前号でも触れたように，この講習は，全科協を中心とした現場からの要望によって実現したものであり，今後も会員館園の協力により，博物館職員の資質向上のための研修の場として，しっかりした基礎をもったものに育って行くことを念願してやまない．なお，今年度の参加者は，つぎの27名の方々である．（ ）内は勤務先．

鈴木正実（北海道教育庁新設美術館準備室），柿崎敬一（青森県立郷土館），板垣英夫（山形県立博物館），藤田定興（福島県文化センター），永山忠夫（川口市立児童文化センター），坂本治（秩父自然科学博物館），神山崇（芝山はにわ博物館），肥沼恵一（交通博物館），宇戸清治（五島美術館），増沢等（天文博物館五島プラネタリウム），栗本信子（科学技術館），八木冨太（彫刻の森美術館），藤田暁男（彫刻の森美術館），神保成伍（高岡市立博物館），植松光宏（甲府市藤村記念館），野村豊（岐阜県教育委員会博物館開設準備室），丸山順士（岐阜市児童科学館），西田躬穂（名古屋市教育委員会文化課）永田宣男（市立名古屋科学館），佐伯陽一（山口県立博物館），西村博之（屋島山上水族館），白井和夫（長崎水族館），磯崎恵明（宮崎県総合博物館），新田重清（沖縄県立博物館），辻秀子（帯広畜産大学環境畜産学研究所）大友昭平（東北大学理学部），東海林菊夫（労働省産業安全技術館）．

現地研修 博物館資料の収集．於，静岡県御殿場市

全科協北から南から

子供達に豊富な体験学習を

横須賀市博物館学芸員　林　公義

六月の梅雨があけると木々の緑はますます水々しく，昆虫が飛び徊い，清流の中では川魚が飛び跳ねる．……これはひと昔前の話．今，我々を取巻いている自然界のバランスは崩れ始めているようである．どこの書店を覗いても「生態学……」「……生態学」と数知れぬEcologyの名著がずらりである．地球の危機感をはっきりと感じさせるものが主流で，新しい自然への接し方を警告している．ここで近頃の子供達の自然の接し方が問題となって来る．私などは現代の子供達よりはもう少し豊かな自然に接して来たと思われる．それが証拠にカブトムシなら○丁目×番地△△さんの家のクヌギの木に朝×時に行けばかならず捕れると綿密に計画し，実際に手にとって見れたのである．しかし最近ではデパートの屋上で金銭売買され，パチンコの景品にまでカエルやホタルが出される傾向にある．こんな不調和な自然環境の中で育った最近の子供達の〝生物への接し方〟についていくつか例をあげて紹介したいと思う．

横須賀市博物館では森と海，２つの自然教育園を管理している．各方面より毎年春から夏にかけて生物や自然景観を観察にやって来る．園内の解説にあたり種々の動植物をとり上げ，手にとって見せたり，相手にさわらせて覚えさせようとする．数人の子供達は必然的に手を差し出す．この様な子供達ばかりだと扱いやすいが実際はそうではないのだ．自然観察の担当員となった方ならだれでもが経験された事と思う．遠くの方からいかにも「汚ない，きもちの悪い物」をあの人は持っているという眼差しでこちらを見ている．彼等には海でとれるヒトデやウニ，カニ類は不潔な物としかとらえられないようである．ある都会の中学２年の男子がカニを捕える様子は地元の幼稚園児よりお粗末な次第であった．新聞，ラジオ，ＴＶから報道される海洋汚染に関する公害ニュースの影響が少なからず海洋生物から彼等を遠のかせていると思えてならない．

各団体クラスの中には一人か二人の理科に関する豆博士がいる．彼等の頭の中には私など不勉強のせいか聞いた事もないような生物名まで数多くつめ込んであり，次々と手にとる動植物名を正確に指摘してゆく．しかしその知識は図鑑のまる暗記にすぎず，一般的な傾向としておぼえている動植物の名前は比較的珍奇種が多いのである．実際フイールドに立って「君が立っているまわりに姿をかくしたヒライソガニやヒザラガイがあるのだけれどもわかりますか？」という質問には彼等の答えはノーである．白い縁どりに囲まれた美しい図版で教育され，実物にお目にかかった事のない豆博士には図鑑からぬけ出したこれ等の動物は発見できないのである．取り上げた動物を充分観察させ意見を聞くと答えがまた全く同じなのである．「へえー，図鑑とそっくりだねー」もう何をか云わん也である．生命の起源は図鑑より後だったかなとこちらの頭をひねってしまう毎年である．偽物と本物の区別がつきにくい現代では無理なのであろうか．

一方，ＴＶや映画など画面を通して見覚えする現代っ子達は生物の大きさにも誤った判断を下しやすい．ムラサキウニを海岸でみつけ放散虫（プランクトンの一種）と真面目に答えた生徒もいた．ミクロの世界を拡大の目で捕えたテレビ放送で覚えたとの事．ブラウン管やスクリーンを通して見る物には比較対象物も是非いれて欲しいと思う．

どれもこれもあっと驚く事実ばかりでフィールド観察をするたびにこの様な珍現象が起るのである．やはり豊かな自然体験が少ない現代っ子が持つ宿命なのであろうか．我々がかつてふんだんに見たりさわったりした生の体験を今の子供達にももっと経験して欲しい．室内学習を１時間するよりも10分の野外学習効果を私は常に目標としている．そういう子供達の為にも少なくなった自然環境を保護し，正しい自然への接し方，つまり体で会得する生態学を学習させることが今の博物館人のひとつの義務ではないかと思うこの頃である．

小学五年生のとき，夏休みの作品を，横須賀市博物館に出品したのが縁で，爾来，中・高・大学と暇さえあれば博物館にかよい続け卒業と共に迷うことなく博物館に直行した．館の方も迷うことなく彼を迎え入れた．いわば子飼いの博物館人である．

人格，識見，力両共，若さに似あわず抜群で，博物館の為にうまれた男というのは，まさに彼のような人物を指すのではなかろうか．日本の博物館界も彼等の世代になったときが楽しみである．

（横須賀市博物館業務係長　押本源治）

--生命の尊さを知り，医学の未来をさぐる
「東海大学人体科学博物館」開館す

東海大学は3年前に一般の人々の海洋思想を啓蒙するために，清水市三保の松林内に海洋科学博物館を設置して注目されたが，このたび人体各部の機構と生命の尊厳を正しく認識させるために，動的な展示品を中心にしてわが国でははじめての「人体科学博物館」を建設し，さる4月28日から一般に公開した．該館が発行している概要からそのあらましを紹介しよう．

静岡県清水市三保 2389　TEL 0543-34-2385

展示は，1）学術的に偏せずまた興味だけに片寄らない．2）教育的な面を強く出す．3）わかり易く系統的に展示解説する．4）静的な形態だけでなく動的な機能を示すものを中心とする．5）進歩の最先端のものを展示する．6）コンピューターを導入する等の基本的な考え方によって構成され，各階ごとにテーマ展示がある．

1階展示場は「健康―コンピューターと健康管理」がテーマで健康に関する啓発コーナー，体力診断コーナー，病気になった場合にそれを管理するコンピューターの役割などが展示され，更にコンピューターによる簡単な自己診断ができる仕組になっている．他に多目的ホールがあり医療関係の教育，学術用フィルム・スライドの映写，各種の講演，講座などの教育活動に利用されている．

2階展示場は「医療―医療と科学・その未来」がテーマで，主として人体と科学の結びつきで，先人が開発した人工心肺，人工心臓など科学の成果がいかに人体の機能を補い，かつ活用されているか．また生体から発生するエネルギーを起電力として人工臓器を駆動する試みの過程と未来像のほか，人間が叡知を集めて研究中である臓器移植をするための冷凍機器，水中から酸素をとる装置など人体にいどむ最前線の資料が展示されている．

3階展示場は「身体―からだとそのはたらき」がテーマで，人間の体の働きがどんなものか，その機能はどのようなものか透明アクリル製の人体模型で，スイッチ一つで各器管の説明ができ，また各器管の部分モデルを系統的に分類し血液の循環，心臓の状態，肺と呼吸，脳と神経の関係，感覚器系，消化器系，骨格系，泌尿器系，生殖器系などの様子を模型で解説してある．

「全日本博物館学会」の設立近づく

かねて，全国の博物館人の要望と期待をもって待たれていた「全日本博物館学会」の設立も，本年5月12日に開催された「第3回設立準備実行委員会」の討議を経て設立への方向に大きく一歩をふみ出すことになった．当日まとめられた設立への動きの概要はつぎのとおり．

1. 当初は，設立準備実行委員の手で作成されたリストの対象者（約1,000名）を発起人として依頼し推進する予定であったが，これをあらため設立準備実行委員会を発起人会に切りかえ，発起人の手によって「設立趣意書」および「会則案」等の内容を整え，さきに作成したリストの対象者を中心にさらに広く呼びかける．
2. 次回は6月9日に「発起人総会」を開催してこれまでの決定方針を確認し，設立総会への準備を推進し，あわせて各博物館関係団体機関誌あるいは研究集会開催等の機会を通じて周知につとめる．

引続き6月9日の発起人総会においては，「設立総会」を本年8月18日に開催することに決定した．

これを機会に，各館園の関係者多数の参加を得て学会の基礎をかため，わが国における博物館学の振興をはかることが強く望まれている．なお「全日本博物館学会」への参加については

国学院大学「博物館学講座」東京都渋谷区東4丁目10番28号　電話 03-409-0111 にご照会ください．

科学技術館で展示品を希望館に譲渡

科学技術館では，宇宙関係部門の展示更新を進めており，これにともない，旧展示資料を会員館園で希望するところがあれば無償譲渡してもよいと言っている．現在候補にあげられている資料はつぎのとおりである．

スプートニクス2号模型　実物大（高さ約160cm，最大径90cm）重量はたいしたことはない．

エクスプローラ7号　実物大，乗用車での運搬は無理．

モンキーシート　実物大，乗用車で運搬可能．

バンガード2号　実物大，直径約30cm，重量10Kg未満．

マーキュリーカプセル　実物大，金属製，高さ2.5m，運搬は2トン以上のトラックが必要．中味はない．

動く衛星船　2人乗り，10円入れるとコンプレッサーの空気により2分間作動する．8㎜映画，音声等が同調する．4トントラック以上必要．

自動切符販売機　内部構造がわかる．20円，100円の切符販売可能．大きさ50cm×60cm×180cm．

パネル数点　譲渡の条件として，運搬費は自己負担，作業の進行上引取りは7月末日までとなっている．詳細は至急下記に問い合わせてください．

連絡先　東京都千代田区北の丸公園 2-1　科学技術館展示部展示課，担当　米津輝夫
TEL（03）212-8471

会員館園の紹介

岐阜県羽島郡川島町　〒483　電話058689-3111

くすり資料館　敷地 7,762㎡　建物延面積 1,031㎡　展示室面積 648.4㎡　附属温室3棟　建物延面積 351㎡　附属薬用植物園 6,000㎡

交通は名古屋駅からタクシーで50分，尾張一宮駅からバスで20分，岐阜駅からバスで30分，木曽川の清流に囲まれた中州の町で，小鳥のさえずる緑の多い恵れた環境の地にあります．**建物**は岐阜県白川郷に残る合掌作りをモデルにした6階建てです．休館日は毎週月曜．入場無料．

昭和46年6月12日，内藤記念科学振興財団（内藤豊次理事長）の付帯事業として**設立**されました．くすり博物館は欧米諸国にはいくつもありますが，わが国には一つもなく，わが国の薬の歴史のわかる博物館ということで26カ国から200名余の外人さんも来館しています．

このくすり**資料館の展示**を1階からご案内しましょう

1階はロビー，大ホール，会議室，管理室です．大ホールは300人収容でき，映写設備が完備し，会議室は52名の定員で，2カ国語同時通訳設備もあり，もちろん全館，冷暖房つきです．

ロビーには，江戸時代の薬種屋の店頭½模型と，約300年前の金看板をはじめ，江戸中期〜後期の見ごとな看板が多く展示してあります．

中2階は和漢薬，生薬標本の展示場です．じゃ香，さい角，牛黄(ごおう)，孫太郎虫，冬虫夏草など珍らしい動植鉱物標本があり，皆さんを驚かすことでしょう．かつては天然物をそのまま薬に用いていましたが，今ではその中から有効成分を抽出して，医薬に供しているものが少なくありません．

2階は**特別展示場**で5月から次の展示をしています．

健康百寿展：　どうしたら健康で長生きできるか，という人類の悲願と取組みました．各国の平均年令，老後の問題点，高令者に多い病気などについて解説し，夫婦そろって長生きを，と呼びかけています．江戸時代から今日までの健康長寿に関する本，二百数十冊も置いてあります．将来は健康相談も行ないたいと考えています．

現代の性教育展：　性教育の必要性，幼児の性教育，外国の性教育，性のめざめ，月経，性と愛，避妊などについて解説しております．また性教育に関する講演会，相談会も企画しており，わが国最初の性教育に関する展示場として，注目を浴びております．

3階にはこのほか結核絶滅への道，ペニシリン物語，経験から科学への脱皮の3展示場があります．いずれも一般の方がたを対象とした展示です．日本で最初のペニシリン「碧素」も展示してあります．

4〜5階は，わが国の薬学・薬業の発展の経過を知っていただく展示場です．5，6世紀にはじまる中国医学の伝来，長く続いた僧医の時代，江戸時代の売薬の発達，富山の売薬の発展など，多くの実物を展示して，判り易く解説しています．薬研（やげん），製丸器，百味タンス，印籠など貴重な資料があります．

5階では170年前の解剖図，シーボルト愛用という薬箱．世界で初めて全身麻酔に成功した華岡青洲の資料などを展示しています．明治3年の麻薬取締法の高札などもあり，4〜5階は実物展示で，好評を得ております．

図書室は4階にあり，約8,000冊の医薬学・薬業に関する図書が，自由に閲覧できるようになっています．特に医薬の歴史関係の図書は豊富です．蘭方，和漢方古書，和漢薬，動植鉱物，薬局方関係の図書も充実しております．このような貴重な図書を多く収蔵し，公開していることは当館の誇りとするところです．

当館の前庭には，この3月来温室が完成し，熱帯の薬用植物の栽培を始めました．また**薬用植物園**には約300種の植物が植えてあり，近く倍に拡張する予定です．

くすり資料館は，内容を充実し〝健康科学に貢献する博物館〟として発展させていきたいと念願し，努力いたしております．

会員館園の紹介

伊良湖自然科学博物館
(IRAGO MUSEUM OF NATURAL SCIENCE)

愛知県渥美郡渥美町大字伊良湖宮下 3000-65

〒 441-36　電話 05313-5-6631

昭和45年7月19日　鉄筋コンクリート造り　博物館総面積 1,372㎡　展示室 686㎡　資料室 94㎡　集会室228㎡　事務室・応接室・ロビー

開館時間　9：00～17：00　年中無休

当館は三河湾国定公園の自然のなりたちや，文化・産業の特色，海辺の民俗や海事について，わかりやすく解説し，伊良湖を訪れる人びとが，短時間により多くの科学的知識を学び，正しい公園の利用方法を学ぶための教育施設として，昭和45年，海陸交通ターミナル・伊良湖港湾観光センターの設立にともない併設された．

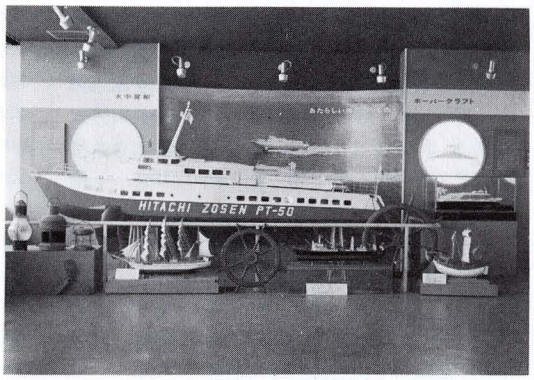
当館の展示では，海の国定公園三河湾を対象として，黒潮の影響をうけて生成する自然景観や人文景観を，メインテーマ「黒潮の道」で表現し，やがて伊勢湾の未来像へと，黒潮との関連を追って，斬新的な興味深い展示方法によって立体的な展示がなされ，三河湾国定公園が一目でわかるよう解説している．

また，海の知識を普及する目的でレーダーを設置し，伊良湖水道を航行する船舶が確認できるよう，一般に公開しているのも，楽しい展示の一つである．

収蔵品には，海の生物，海の鳥などの自然科学資料約3,000点，伊良湖東大寺大仏殿瓦場古窯跡の出土品や，船舶，漁撈具など人文資料約800点等，おもに海に関係した研究資料をあつめている．

友の会は，自然に親しみ，自然を保護することで，野外観察・講習会・映画会・おはなしの会などを開催し，雑誌「伊良湖」や随時印刷物・ガイドブック等によって**博物館教育活動**の普及につとめている．

伊良湖自然科学博物館全景



展示室の一部

今後の博物館活動の一環として，近日中に三島由起夫著「潮騒」の舞台となった「神島」を，皆様方に新しく紹介をする所存であるので，よろしくお願いしたい．

また，紹介に当り雑誌「伊良湖」で近く神島特集号も発行するのでよろしく．なお，当館の展示，博物館事業の詳細については，伊良湖港湾観光センター調査役川口連次に問合わせていただきたい．

全国科学博物館協議会入会館園名

※印購読会員（昭和48年7月1日現在）

館・園名	館・園長名	郵便番号	所在地・電話番号	
釧路市立郷土博物館	中港　嗣哉	085	釧路市鶴ケ袋 1-10-35	(0154)41-5809
室蘭市青少年科学館	内海　量夫	051	室蘭市本町 2-2-1	(0143) 2-1058
秋田大学鉱山学部付属鉱業博物館	梅津　良之	010	秋田京手形字大沢 28-2	(0188)33-5261
岩手県立広田水産高等学校付属水産博物館	三浦　義良	029-26	岩手県陸前高田市広田町大久保 138	(01925)6-4500
松島水族館	西条　繁雄	981-02	宮城県宮城郡松島町波打浜 16	(02235)4-2020
斎藤報恩会博物館	斎藤養之助	980	仙台市本町2丁目20番1号	(0222)22-4777
山形県立博物館	結城　嘉美	990	山形市霞城町 1-8	(0236)32-1111
福井市立郷土自然科学博物館	小林　貞七	910	福井県福井市足羽上町 147	(0776)35-2844
木の葉化石園	加藤　信吉	392-29	栃木県塩谷郡塩原町中塩原 472	(028732) 2052
アリタキ・アーボレータム	有滝　竜雄	343	埼玉県越ケ谷市越ケ谷 2566	(0489)621624, 2054

川口市児童文化センター	織本　重義	332	埼玉県川口市青木町 5-1358	(0482)52-4995
東京農工大学付属繊維博物館	大野　泰雄	184	小金井市中町 2-24-16	(0423)81-4221
天文博物館五島プラネタリウム	五島　昇	150	渋谷区渋谷 2-21-12	(407)7409
東京都高尾自然科学博物館	土屋　道生	193	東京都八王子市高尾町 2436	(0426)61-0305
東京都児童会館	上杉　隆憲	150	渋谷区渋谷 1-18-24	(409)6361
国立科学博物館	福田　繁	110	台東区上野公園	(822)0111
交通博物館	古谷　善亮	101	千代田区神田須田町 1-25	(251)8481
逓信博物館	関野　与八	100	千代田区大手町 2-3-1	(270)3841
日本科学技術振興財団科学技術館	田代　茂樹	102	千代田区北の丸公園2番1号	(212)8471
労働省産業安全研究所付属産業安全技術館	臼井　一寿	108	港区芝 5-35-1	(453)8441
NHK放送博物館	若菜　三雄	105	港区芝愛宕町 1-10	(433)5211
恩賜林記念館	丹羽　貞一	400	山梨県甲府市丸の内 1-5-4	(0552)37-1595
川崎市立青少年科学館	小塚久良雄	213	川崎市多摩区生田緑地 9310	(044)90-2751
神奈川県立博物館	土屋　武人	231	横浜市中区南仲通 5-60	(045)201-0926
神奈川県立青少年センター	足立原茂徳	220	横浜市西区紅葉ケ丘 9	(045)241-3211
横須賀市博物館	羽根田弥太	238	横須賀市深田台 95	(0468)24-3688
真鶴サボテンドリームランド	松成喜久雄	259-02	神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴 1178	(0465)68-0211
観音崎自然博物館	井合　了治	239	横須賀市鴨居4丁目南門	(0468)41-1533
熱川バナナ・ワニ園	木村　亘	413-03	静岡県加茂郡東伊豆町奈良木 971-9	(0557)23-1105
豊橋向山天文台	金子　功	440	豊橋市向山東町 44	(0532)52-4489
岐阜市立児童科学館	志知　正義	500	岐阜市小椎谷 251（岐阜公園内）	(0582)63-0290
名和昆虫博物館	名和　正雄	500	岐阜市大宮町 2	(0582)63-0038
内藤記念くすり資料館	内藤　豊次	483	岐阜県羽島郡川島町	(058689)3111(内300)
鳳来町立鳳来寺山自然科学博物館	大原　広	441-16	愛知県南設楽郡鳳来町門谷字森脇 6	053635-1
伊良湖自然科学博物館	伊藤　務	441-36	愛知県渥美郡渥美町大字伊良湖字宮下	(05313)5-6631
市立名古屋科学館	佐藤　知雄	460	名古屋市中区栄 2-17-22	(052)201-4486
神宮徴古館農業館	幡掛　正浩	516	伊勢市神田久志本町 1754	伊勢 2-2141-3
仏教児童博物館	中井　玄英	605	京都市東山区高台寺北門通り下河原東入鷲尾町	(075)561-2710
大阪市立自然科学博物館	千地　万造	550	大阪市西区靱(うつぼ) 2-52	(06)441-6900
大阪市立電気科学館	辰巳　博	550	大阪市西区西長堀北面 1-6	(06)531-1180
鳥羽水族館	中村　楠雄	517	鳥羽市鳥羽 3-3-6	(05992)5-2555
神戸国際港湾博物館	西川　光一	650	神戸市生田区波止場町 8	(078)391-6751
明石市立天文科学館	橋本　徹	673	明石市人丸町 2-6	(078)911-5826
香川県自然科学館	高松　美一	726-01	坂出市王越町木沢 1901	
津山科学教育博物館	森本　謙三	708	岡山県津山市山下 97	(08682)2-3518
愛媛亜熱帯植物園	窪田　義直	791-31	愛媛県伊予郡松前町中川原 928	(08998)4-2033
竜河洞博物館	岡本　重則	782	高知県香美郡土佐山町逆川 1340	(08875)2-6599
徳島県博物館	林　利秋	770	徳島市西山手町 1-1	(0886)22-9011～2
鳥取県立博物館	西本　真一	680	鳥取市東町 2-124	(0857)24-1621
伊吹植物園	伊吹　道郎	680	鳥取市薬師町 43	(0857)22-2813
山口県立山口博物館	臼杵　華臣	753	山口市春日町 8-2	(08392)2-0294
萩市郷土博物館	黒川　純行	758	萩市江向 525-4	(08382)2-3131, 3142
秋芳町立秋吉台科学館	末永　孝	754-05	山口県美称郡秋芳町秋吉	秋吉局 140
佐賀県立博物館	古賀　秀男	840	佐賀市城内 1-15-23	(09522)4-3947
宮崎大学農学部農業博物館	外山　信男	880	宮崎市船塚町 100	(0985)3-2141
鹿児島県文化センター	汾陽　操六	892	鹿児島市山下町 5-3	(0992)23-4221
※愛媛県立博物館	楠　博幸	790	愛媛県松山市二番地 4－7－1	(0899)31-2987
※和鋼記念館	住田　正男	692	島根県安来市安来町881	(08542)2-3501